

# 高齢者の医療・介護連携の課題と対策 退院支援の実態と在宅療養継続の関連に関する研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: ( 2020 年 9 月 14 日 ) ~ 2024 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕 高齢者の医療・介護連携の課題と対策

退院支援の実態と在宅療養継続の関連性に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けて

## 〔研究目的〕

本研究では東京都北区の国保・後期高齢者医療情報にデータ管理された高齢者を対象に、退院支援によって退院後の在宅療養継続にどのような影響があるのかを明らかにし（研究①）、退院支援を受けた患者さまやご家族・退院支援に関わる病院職員及び連携先となる訪問看護師・介護支援専門員・在宅医らを対象に高齢者の退院支援に関する課題を質的手法を用いて明らかにすることを目的とします。（研究②）。

## 〔研究意義〕

日本の高齢化は急速に進行しており、高齢者の単独世帯・夫婦のみの世帯の増加は介護保険制度の利用をしてもなお、介護に不安を感じる人が多い現状に繋がっています。介護の背景には傷病により、急性期病院での治療を受けた後に自己管理や家族への支援体制に困難があり、介護が必要になるという状況が考えられます。退院支援を受けることで地域の医療・介護機関との連携に結びつき、介護予防・住み慣れた自宅での療養継続が期待されます。本研究では、高齢者への退院支援の実態を明らかにし、在宅療養継続の関連をもとに北区の医療・介護連携推進事業の発展のため今後のあり方を関係機関へ提言していきたいと考えています。

## 〔対象・研究方法〕

研究① 北区 国保医療情報・後期高齢者医療情報より レセプト分析を用いた統計解析

研究② 北区急性期病院で退院支援を受けた患者さま・ご家族さま、

医療・介護機関の職員から聞き取り調査

## 〔研究機関名〕

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報はすべて暗号化し、個人の特定ができないようにします

対象となる被保険者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：高橋謙造

研究分担者：武井ますみ 宮田敏

所属：帝京大学大学院 公衆衛生学研究科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 46210 ]